

第6回共同経営・統合新病院整備に係る有識者会議 議事要旨

- 日時 令和6年9月14日（土） 13時00分～14時05分
- 場所 ホテル青森 3階 あすなろ・はまなすの間
- 出席構成員（12名） 青森公立大学 足達准教授
弘前大学 片岡教授
弘前大学 福田学長【座長】
青森市医師会 北畠会長
青森地域広域事務組合 村上消防長
平内中央病院 首藤院長
青森県医師会 高木会長
全国自治体病院協議会 丹野青森県支部長（十和田市立中央病院事業管理者）
医療法人芙蓉会村上病院 水木院長
乳がんピアサポートBECあおもり 佐藤代表
血液疾患と歩む患者・家族の会 納谷氏（青森県医療審議会委員）
青森市病院運営審議会 原子前委員
- 欠席構成員（2名） 東北大学 岡田教授
青森市町会連合会 佐々木会長

○案件

- （1）第5回有識者会議の議事要旨について
- （2）共同経営・統合新病院整備に係る整備場所について

○その他

1 事務局からの報告等

（事務局（大山病院事業管理者））

- ・有識者会議の開催に当たり、私が代表して構成員の皆様にお詫びと御報告を申し上げます。整備場所については、8月中に皆様から御意見を伺い、候補地を決定したいとしていたが、結果として、有識者会議を8月中に開催できず、前回から約2か月も経過してからの開催となった。また、この間、情報提供などもできない状況が続いていた。皆様には多大なる御迷惑、御心配をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。
- ・その上で、これまでの経緯等について、御報告申し上げます。整備場所の候補地については、8月中の決定を目指して進めてきたが、土地区画整理事業で整備した浜田中央公園について、地域住民の意見を聴く必要があるとの考えから、8月28日の知事と青森市長との会談において、住民との懇談等のプロセスについて共有し、候補地の決定時期を9月に延期することとした。その後、県と青森市がそれぞれの立場等を理解した上で、課題を乗り越えて前に進められるよう、連携・協力し、対応してきた結果、浜田中央公園・県営スケート場周辺を新たな検討対象地とした上で、本日、皆様から御意見を伺う段階

に至っているものである。

- ・統合新病院は、地域の中核病院としての役割に加え、救命救急センター、総合周産期母子医療センター、基幹災害拠点病院など、県に唯一となる県立総合病院として、県全域を対象とした高度・専門・政策医療の拠点病院としての役割を果たすことになる。
- ・本日、皆様から頂く御意見を真摯に受け止め、今後、知事と青森市長による整備場所の候補地の決定に繋げていきたいと考えているので、よろしくお願ひしたい。

2 第5回有識者会議の議事要旨について

- ・意見なし（前回の議事要旨について承認）

3 共同経営・統合新病院整備に係る整備場所について

（事務局）

- ・資料の説明に入る前に、県と青森市がそれぞれ作成した、青い森セントラルパークと浜田中央公園・県営スケート場周辺のメリット・デメリット資料と経費比較資料の取扱いについて御説明したい。次の2点について、県と青森市のお互いが理解しているところであり、共通理解の下、統合新病院の整備に向けて連携・協力して取り組むものである。
- ・1点目として、メリット・デメリット資料については、全県を対象とした高度、専門、政策医療の拠点病院としての役割を担う県立中央病院と、地域における中核病院としての役割を担う青森市民病院が、それぞれの立場から整理したものであること。
- ・2点目として、経費比較資料については、経費比較で示されている各項目については、統合新病院を整備する際に、県と青森市がそれぞれの立場からの現時点で考えられる対策の一覧であること。特に、県営スケート場東側の道路拡幅や八甲田大橋からのアクセス橋の整備とそれに伴う八甲田大橋の架替えなどについては、それぞれの道路管理者の立場で必要な渋滞対策を検討した結果であることを、お互いが理解していること。
- ・資料2の青森市統合新病院整備場所等検討会議の検討概要について御説明申し上げる。
7月の第5回有識者会議で皆様から御意見いただいた後に、統合新病院整備場所等検討会議を4回開催してきたが、その4回目の会議を開催する前に、地域住民の皆様や市議会議員等の御意見をいただき、4つ目の浜田中央公園・県営スケート場周辺の案については、実現可能性のある案として検討対象に加え、浜田中央公園・県営スケート場周辺を含む4つの検討対象地について、最終的に統合新病院整備場所等検討会議の構成員の皆様から御意見をいただいた。まちづくり・通院アクセス、救急搬送、災害関連等の区分ごとに構成員からいただいた御意見は次のとおりである。

<まちづくり・通院アクセス>

- ・青い森セントラルパークは、都市機能誘導区域に入っていて青森市都市計画マスタープランに沿っているが南北の動線は必須なので検討が必要である。青森市の真ん中にあり、圏域人口が一番多い。渋滞が指摘されており、道路拡幅といった対策が必要である。短期的には公共交通（バス）が必要だが、長期的には鉄道の新駅を整備すべきであり、市外からの方に意味のある手当てになるのではないかと。
- ・浜田中央公園・県営スケート場周辺は生活拠点区域ということで、医療施設立地の適地である。青森地域の南の端にあるので、圏域人口を比べるとセントラルパークとの

差は小さい。

- ・旧県立青森商業高校及び県立中央病院敷地は、県立中央病院が移転すると、東側の衰退が懸念される。また、現在の県立中央病院を基点として、様々な形での交通網が形成されている。

<救急搬送>

- ・「第4回共同経営・統合新病院整備調整会議」の欄については、地震工学、建築学、災害医療、都市計画地域計画、救急など各分野の専門家の方から御意見をいただいたものあり、今回の私どもの検討会議という専門家の方の御意見だというふうに御認識いただければと思う。それらを踏まえ、救急搬送の部分について、考えの軸として、中心に位置することで東西南北からアクセスでき、医療機関での収容までの時間が短縮され、救命率の向上が期待できるという専門家からの御意見があった。
- ・これに対して、青い森セントラルパークの利点として、少しでも早く医療機関に到達するためにも走行時間は短くしたいということを考えると、中心部に医療機関があることが非常に望ましい。市の各方面からのアクセスの良さや搬送にかかる時間とのバランスの視点から、市の中心部への病院設置が望ましい。

<災害関連>

- ・津波の部分について、専門家の方から、仮に施設機能が維持されても、物資の搬入やスタッフの交代要員の受入れルートの確保など、運営体制の維持が難しいと思われるので、できれば津波が想定される場所は避けるべきと考える。また、浜田中央公園・県営スケート場周辺については、災害全般として言えることだが、全県的な災害対応を考慮すると、高速道路に近接している立地は利点になる。
- ・現在の経済状況、工事の状況のまま進むことを考えると、スケジュールどおり進むのか、2年、3年も遅れてしまうのではないかと懸念があり、災害のリスクを考えると、現病院のままで対応せざるを得なくなるのが最大のリスクではないか。

<その他>

- ・浜田中央公園案について、規模の大きい施設を解体し移転するというところがあり、他の3か所と同じ土俵で比べると難しい。
- ・これらの論点を踏まえ、最終的な構成員の皆様の御意見として、「本当にここがいい」と断言される方もいたものの、多くの皆様は検討対象地についてそれぞれ一長一短があり、判断に非常に迷うところがあったように感じている。
- ・それらのことを踏まえた上で、統合新病院の整備に望ましい場所についての構成員の意見は次のとおりであった。

青い森セントラルパーク	5名
旧県立青森商業高校及び県立中央病院敷地	3名
浜田中央公園・県営スケート場周辺	1名
青い森セントラルパークまたは浜田中央公園・県営スケート場周辺	2名
旧県立青森商業高校及び県立中央病院敷地または浜田中央公園・県営スケート場周辺	1名

(福田座長)

- ・資料2についての事務局からの説明にもあったが、青森市の統合新病院整備場所等検討

会議において、災害の専門家である構成員から指摘のあった、津波が想定される場所は可能な限り避けるべきであるということは、医療提供体制を維持する上で重要な御指摘ではないかと考えている。

(丹野構成員)

- ・統合新病院の整備場所を青い森セントラルパーク又は浜田中央公園・県営スケート場周辺のいずれかにすることにより、開院時期のスケジュールの差は生じるものか。

(事務局)

- ・両者において開院時期に違いは生じない。

(福田座長)

- ・前回までは、青い森セントラルパーク又は浜田中央公園・県営スケート場周辺という議論だったが、青森市の統合新病院整備場所等検討会議では旧県立青森商業高校及び県立中央病院敷地を提案する構成員が3名いた。この点に関して、どのように判断するのかわかると思う。先ほど、津波が想定される場合は可能な限り避けるべきであるということで話を進めてきたが、青森市の統合新病院整備場所等検討会議でもそこを理解した上で、それでも旧県立青森商業高校及び県立中央病院敷地が望ましい場所であるという御判断なのかと思うが、有識者会議では、どういう見解なのかということをもっと明確にしておいた方が構成員の皆様にも最後に整備場所について意見を述べていただく際に良いのではないかと。この点に関しては、片岡構成員が一番関係あるかと思うので、御意見をお願いしたい。

(片岡構成員)

- ・青森県で被害想定をした責任者としての立場では、悩ましいところがあり、今の議論は病院についての議論だけであるが、病院のそばの平地にはたくさんの方が住んでおり、その方々が津波で避難できなくなるであろうことは十分わかっている、そうすると、想定された津波の高さが4.4メートルぐらいだと、ここに堤防を作ると、病院だけではなく住民の方々も救えるような仕組みというのは考えられないのかと以前思っていたが、市の統合新病院整備場所等検討会議の構成員の方でもそういうことを言われていたが、ただ100億円ではできないだろうと思っている。
- ・また、県の被災全体を下げるという意味では、どうにかあそこに堤防を作ってほしいと思うが、それは現実的ではないので、そうするとやはり座長が言われたように、避けた方がいいんだろうと思っている。

(足達構成員)

- ・旧県立青森商業高校及び県立中央病院敷地を支持される方はそれぞれ理由があり、資料2の3ページ以降に記載されているが、1つは、医療というよりはまちの核が東側から失われるとか、県営スケート場を移設するのは結構費用がかかる、八甲田大橋を架け替えるのには費用がかかる、費用をかけられるのであれば、それこそ堤防を始めとする災害対策をもって、この場所にしてもいいのではないかという意見もあった。災害という面から見ると自分は専門ではないから、これ以上は言えないが、それ以外のメリットを見出された方がいたということである。

(福田座長)

- ・少なくとも、病院の嵩上げ^{かさ}だけでは済まないということである。津波はすごい勢いでい

ろんなものを運んで来るので、病院だけが残っていても、そこに患者さん、あるいは被害を受けた方、医療従事者がたどり着けないという状況が発生するので、そう簡単ではないということである。それを全面的に解決するのであれば、片岡構成員が言うように、高い堤防を作るしかない。それができるかどうかだと思ふ。その点も含めた上で、構成員の皆さんの御意見を伺いたいと思ふ。

(足達構成員)

- ・ 4箇所の中で青い森セントラルパークと浜田中央公園・県営スケート場周辺は甲乙付け難く、強いて順番を付けるならば青い森セントラルパークが望ましい。
- ・ 都市計画上、青い森セントラルパークは都市機能誘導区域、浜田地区は生活拠点区域に位置付けられているが、都市機能誘導区域は青森駅周辺などと同じような重要性がある。
- ・ 現在、県立中央病院と青森市民病院に通院する患者の83%が青森市民であることから、市内からのアクセスと圏域人口を重要視した。

(片岡構成員)

- ・ 青森県総合運動公園は、近くに断層があるためふさわしくない。旧県立青森商業高校及び青森県立中央病院敷地は周辺地域全体を津波から守る対策ができればよいが、現実的に難しいと考える。
- ・ 通常時においては、青い森セントラルパークと浜田中央公園・県営スケート場周辺のどちらがよいかは判断できない。
- ・ 大規模災害が発生した場合を想定すると、資材を運べるとか、周辺道路が混んでいないということを考えれば、浜田中央公園・県営スケート場周辺がよいのではないかと。

(北島構成員)

- ・ 県立中央病院と青森市民病院が単純に統合するのではなく、様々な機能を持った中核病院ができることを前提とすべきであり、病院の性質上、全県から患者が来ることを考えなければならない。
- ・ 青い森セントラルパークに関してはアクセスが問題になる。要は救急車が運べないのが一番問題になるのではないかと。特に冬場の渋滞は大きく、青森市総合体育館ができて平時の夜も混雑する中で、救急車がどう運ぶか。浜田中央公園・県営スケート場周辺よりも青い森セントラルパークの方が、圏域人口で見ると対象になる人数が多く、距離も近いので時間的に有利は数値ではあるが、実際にはいろいろな条件があり、数値的にはそれほど差はないと思ふ。
- ・ 鉄道は魅力ではあるが、今の輸送量を考えると、鉄道を利用する患者は多くないと思ふ。やはり車が主体になることを考えると、浜田中央公園・県営スケート場周辺の方がいいと思ふ。
- ・ 魅力のある病院を作って全国から人を呼んでくるということを考えると、少しでも広く、アクセスがいい、浜田中央公園・県営スケート場周辺がいいと思ふ。

(首藤構成員)

- ・ 統合新病院は竜飛崎から陸奥湾に沿って外ヶ浜町、青森市、平内町、野辺地町、下北全域までカバーする基幹病院である。そういった地域からのアクセスを考えると、高速道路の近くというのは最大のメリットである。このことは、8月9日の町村立病院長会議

に出席していた病院長みんなが同様の感じであった。

- ・浜田中央公園・県営スケート場周辺が候補地として最適じゃないかと考えている。

(高木構成員)

- ・青い森セントラルパークは平時でも渋滞がひどく、冬場はさらにひどいと聞いている。
- ・渋滞対策として行う道路拡幅にも時間を要すると考えられるため、救急搬送とか災害関連も含めて、浜田中央公園・県営スケート場周辺が一番いい。

(丹野構成員)

- ・諸々の機能を集約した県の中核病院ができることを考えれば、絶対、道路アクセスはマストだと考える。そういう意味では、やはり浜田中央公園・県営スケート場周辺がよいのではないかと考える。
- ・十和田市立中央病院のデータでは、救急搬送は平日の日中が最も多い。平日の日中における道路アクセスが非常に重要と考える。そういう視点からも、浜田中央公園・県営スケート場周辺の方がアクセス的にはよいのではないかと考える。

(水木構成員)

- ・人口減少や除雪地の拡大を抑制する観点からは、中心部に近い青い森セントラルパークと浜田中央公園・県営スケート場周辺がいいのではないかと思う。
- ・高次救急病院では車の移動を最優先で考えるべきであり、その点では、アクセスが煩雑で道路も狭く渋滞を起している青い森セントラルパークは厳しいと考えている。ただし、環状線も渋滞が発生しているため、解決していかなければならない問題である。
- ・災害関連について、青い森セントラルパークは土地が低く、台風の際には冠水している部分があったため、道路の拡幅も必要だが、道路の嵩上げかさも必要ではないかと思う。
- ・医師として地域医療構想の観点から考えると、居住エリアゾーンに近く、公立の病院があって、その受け皿となる病院が近くにあるということで、地域の包括的な診療やケアを施しやすくなると思っている。青い森セントラルパークと浜田中央公園・県営スケート場周辺はあおもり協立病院や当院（村上病院）が近くにあり、他の浪打病院、青森新都市病院、青森厚生病院も同等の距離になっていると思う。そういう観点では、青い森セントラルパーク及び浜田中央公園・県営スケート場周辺は、地域医療構想にも合致していて、医療連携という体制を考えたときにもいいと思う。
- ・トータルすると浜田中央公園・県営スケート場周辺がよいと思っている。

(村上構成員)

- ・旧県立青森商業高校及び青森県立中央病院敷地は、津波のリスクがあるのであれば、適地から外して考えるべきだと思う。
- ・青森県総合運動公園については、遺跡が出る可能性がある地域であるため、整備場所としては考えにくい。また、国道から浪館通りに入っていく際には2箇所の踏切があり、変形変則の五差路で、大渋滞していて、かなり危険なところであり、救急搬送についても懸念がある。
- ・青い森セントラルパークと浜田中央公園・県営スケート場周辺についてであるが、当初より救急搬送の観点から、統合新病院へのアクセス道路については、一つには渋滞、狭隘あいといったキーワードに合致しない状況であること、二つには路面状況の良い道路が設置されていること、三つには確実な除排雪の実施により搬送経路が確保されていること、

これらの3点について要望してきたところである。両者とも統合新病院整備場所等検討会議等で示されている対策等が行われれば、これらの3点の要件を満たすと考えている。ただし、浜田中央公園・県営スケート場周辺の場合は、県営スケート場東側の道路の拡幅や環状7号バイパスの安全対策が条件となることは念押ししたい。

- ・東青地域全体の救急搬送の実情に鑑みても、搬送距離、搬送時間という点で、市の中心部にある青い森セントラルパークが有利ではないかと考える。
- ・火災等の対応、救助作業について考えると、中央消防署、東消防署といった主要な消防署に近く、迅速な活動を展開するということで、青い森セントラルパークの方が有利ではないかと考える。

(佐藤構成員)

- ・患者や医療従事者等、人が相当数集まってくることを考えると、アクセスの問題は考えなければいけない。
- ・病院が建設されたとしても、医療従事者が辿り着けないと病院が機能しないことになる。
- ・統合新病院は、これから医療従事者になる方が主体となって回していくような病院になると考えている。弘前大学医学部附属病院で学んでいる学生たちに働きたいと思ってもらえるような、そういった魅力ある病院をつくるということを見ると、浜田中央公園・県営スケート場周辺が一番いいと思う。

(納谷構成員)

- ・病院へのアクセスという点では、安全に、安心して、ちょっとでも早く医療に繋がりたいというのが患者とその家族の希望である。職員にも、ストレスなく通院し、より良いコンディションで診察に当たってほしい。
- ・入院中の経験として、県外から血液が届くのを待って輸血したという経験もある。また、職場の仲間が冬に下北から3時間以上かけて救急車で搬送され、心配した経験もある。
- ・こうした経験も踏まえ、アクセスという点から浜田中央公園・県営スケート場周辺を選びたいと思う。

(原子構成員)

- ・県民や県外の方など不特定多数の方が利用する病院なので、誰でも利用しやすい病院、場所であるべき。そのため交通アクセスは、自家用車の所有の有無に関わらず、とても大事なことだと考える。
- ・比較的ベストと思われる場所として旧県立青森商業高校及び県立中央病院敷地と浜田中央公園・県営スケート場周辺を選んでいる。交通アクセスは良好だが、津波対策と既存施設の移転、整備が必要という課題もあるためである。
- ・県立中央病院は、幅広い年代層でどんな病気でも診てもらえて、治療してもらえというイメージがある。家族や自分自身も利用経験がある中で、統合新病院が整備されても、この期待感は持ち続けることになる。病院には様々な医療情報の発信を求める一方、利用者サイドとしては憧れと自慢のできる病院であることをPRしていきたいと思っている。

(事務局)

- ・本日御欠席の構成員の方から事前に御意見をいただいていたので報告させていただく。
- ・岡田構成員からは次のとおり意見をいただいた。

浜田中央公園・県営スケート場周辺は、環状7号バイパス、高速道路からのアクセスが良く、青森市以外も含めた全県的な重症患者搬送にも適していると思われる。青い森セントラルパークは市の中心部にあり、患者の外来通院や職員の通勤の利便性という点では利点があると思われる。

- ・佐々木構成員からは次のとおり意見をいただいた。

青い森セントラルパーク周辺の渋滞や除排雪を懸念する声もあるが、浜田中央公園・県営スケート場周辺も国道7号バイパスは通勤ラッシュ時に渋滞しており、渋滞に対する懸念は双方同じと考える。その点は整備場所が決まった後に対策を練って渋滞解消に努めていけばよいものと考えている。また、除排雪についても、統合新病院整備に伴って、どこであっても徹底するとのことであるので、除排雪に関する課題も解消されると考える。これらを踏まえると、コンパクトなまちづくりや救急搬送の観点から青い森セントラルパークの方がよいと考える。

(福田座長)

- ・青い森セントラルパーク周辺は閑静な住宅街で、そこに800床を超える統合新病院ができ、2,000人から3,000人の患者と医療従事者が通院・通勤するということは、ある意味、大きな町が引っ越してくるような感じであり、一番問題になるのはアクセスと考える。青い森セントラルパークは、北に鉄道、左右に大きな橋が架かっており、南側からしかアクセスできない状況下なので、対策はあるのだろうかと非常に疑問視していた。道路の拡幅、八甲田大橋の架替え、新駅の設定など提案があったが、そのほとんどが病院の開院に間に合わないことが想定され、そのような状況で候補地として推しているのか疑問がある。
- ・全県の医療を考えれば、浜田中央公園・県営スケート場周辺が適地ではないかと考えている。

その他

(事務局)

- ・整備候補地については、本日の会議の内容を速やかに知事と青森市長に報告をさせていただき、最終的な判断を仰ぎたいと思っている。なお、本日の会議の内容の報告の取りまとめについては、事務局に一任いただければと思っている。
- ・次回の有識者会議は今年度の策定を予定している共同経営・統合新病院に係る基本構想・計画に係る案件を議題にし、開催させていただきたいと考えているので、引き続き御協力をお願いしたい。

(高木構成員)

- ・統合新病院の整備場所がいずれになっても、完成までは早くも8年弱かかり、現状では、県立中央病院は主に看護師不足で一部病棟を閉鎖しており、青森市民病院は主に医師不足で診療を縮小している。現状、両病院とも十分な本来の医療機能を果たしていない。統合新病院の建物を建設する前に、統合した組織を作ってしまった方がいいと思う。両病院で、お互いの足りないところを合わせて補って十分な医療を行えるようにした方がいいと思うので、できるだけ早く統合した組織を作った方がいいと思う。

(大山病院事業管理者)

- ・高木構成員の御指摘のとおり、統合新病院の建物を建設する前に、県立中央病院と青森市民病院の両病院の職員について統合を前提にした動きが必要だと思うので、地域医療連携推進法人がその母体になると思うが、早く設立して、準備を進めたいと思う。

以上